

平成27年度行政評価 施策評価シート（平成26年度実績）

施策名 文化的景観の保護推進

施策コード	060601
1. 施策の担当	
主管課	教育部 教育総務課
関係課	農林水産課、都市計画課

2. 総合計画における位置づけ				
総合計画	政策	第6章 心地よく、くつろぎを感じるまちづくり（快適・憩い）	節	第6節 景観
	施策	文化的景観の保護推進		
基本方針				
・ 良好な景観が誇りとなり、地域の活性化へとつながるよう、保護、活用に努めるとともに、市民と行政が協働して、良好な歴史・文化的環境の保全に努め、文化的景観の保護を進めます。				
現況と課題				
・ 国宝慈眼院多宝塔・重文金堂など数多くの指定・登録文化財建造物や全国的に数少ない荘園遺跡である国史跡日根荘遺跡が存在し、地域の歴史・文化的景観の形成に寄与しています。 ・ 国史跡日根荘遺跡は16か所に点在しているため、市民が活用しやすいための整備が十分に進められていない状況です。 ・ 国史跡日根荘遺跡とそれに関連する地域の良好な景観を日根荘の文化的景観として、その保護を市民や関係者等と共に検討を進めています。 ・ 文化財建造物等の所有者や国史跡の関係者のみの保護ではなく、地域や市が一体となって保護や活用に取り組む仕組みづくりが求められています。 ・ 多彩な歴史・文化的景観を地域の活性化へつなげる手法の検討が求められています。				
施策目標				
対象（誰を、何を、どこを）				
市民				
意図（どのような状態にしたいのか）				
市民が歴史・文化に育まれた良好な景観に誇りを持っている。				

3. 市民ニーズ							
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
満足度（偏差値）			53.8				
重要度（偏差値）			37.9				

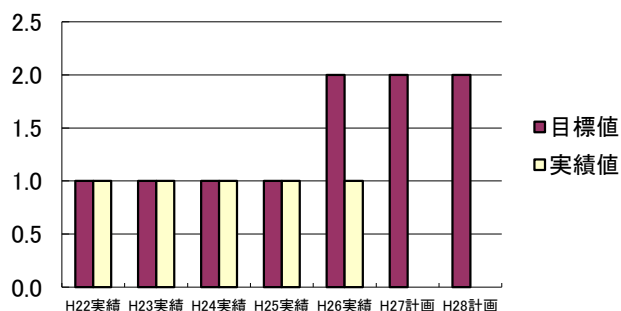
4. 施策にかかるコスト								
コストの内訳	人件費	単位	H25決算	H26決算				
	事業費	千円	16,179	16,749				
	フルコスト		1,092	1,130				
財源内訳	国庫支出金	千円	17,271	17,879				
	府支出金							
	市債							
	その他							
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）		17,271	17,879				
	一般財源2（＝直接事業費－特定財源）		1,092	1,130				

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1 歴史的・文化的景観の保護活用にかかる計画地区数（累計）							
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0
実績値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
達成度	100.0	100.0	100.0	100.0	50.0		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
市内に所在する歴史的建造物や文化財に、良好な自然環境等を総合的に保全活用するためには計画策定が必要となる。計画を策定することによって積極的な景観を保全する施策が推進できる。		対象となる地区の持つ景観資源の確認、住民等の意向を把握しながら計画策定をする必要があるため、5年間で1カ所程度と設定した。			前年・前々年のから平成22年度を目処に計画策定を進めてきたことによる。		

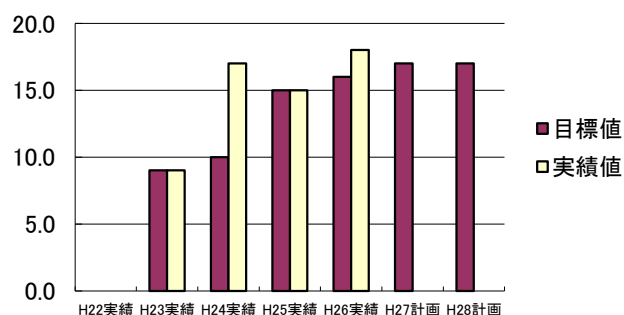
② 成果指標 2		文化的景観にかかる講座等の回数					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値		9.0	10.0	15.0	16.0	17.0	17.0
実績値		9.0	17.0	15.0	18.0		
達成度		100.0	170.0	100.0	112.5		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
文化的景観にかかる講座等の回数 が文化的景観の周知度に反映され ると考えられるため。		講座等の実績により算出		前年度から継続して地元や市内のみならず市外の多様な施設 でより多くの方々の日根荘の普及事業として展覧会や講座等 を幅広く実施したことによる。			

③ 成果指標 3		文化的景観にかかる講座等参加者数					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値				3,556.0	3,600.0	3,700.0	3,700.0
実績値				3,556.0	1,409.0		
達成度				100.0	39.13		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
史跡日根荘遺跡や文化的景観にか かる講座等普及事業の参加者数に 実施効果が反映されると考えられ るため。		過年度の実績に基づき設定		前年度以降、より多くの方々に 対し、日根荘のPR事業（イ ベントや印刷物、映像配信） を通じて遺跡の情報を幅 広く提供した。			

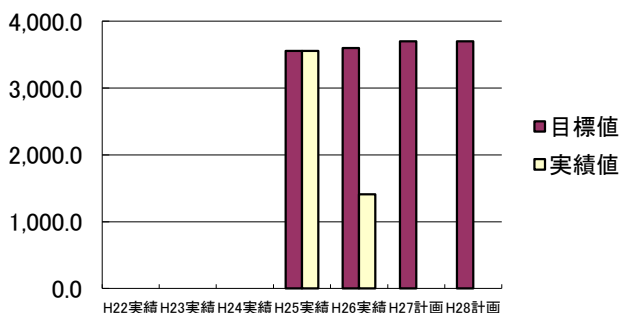
成果指標①



成果指標②



成果指標③



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 1	史跡日根荘遺跡とそれに関連する地域の文化的景観のうち、大木・土丸地区について調査・保存活用計画の策定し、平成24年度に大木地区について国重要文化的景観の選定申出を行い、平成25年度に大阪府内で初めてとなる国重要文化的景観として選定された。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	地域の歴史や文化・自然環境に対する関心は高く、市民アンケートによる満足度も一定の数値を得ている。これまで地域で受け継がれてきた史跡や文化的景観について、地域活性化へ役立てるとともに次の世代へ伝えていく方法の検討が求められている。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	景観法や文化財保護法の改正による文化的景観の位置づけにより、各地で文化的景観や史跡をはじめとする文化遺産を地域活性化や観光振興へ活かす取り組みも広がっていることから、日根荘や文化的景観などの果たす役割が大きくなっている。
	合計点	(10点中) 6 点	
	総合評価	C	全国的にも数少ない中世荘園遺跡である国史跡日根荘遺跡及び大阪府で初めてとなる重要文化的景観日根荘大木の農村景観など、日根荘関連の文化財は泉佐野市の貴重な資産である。今後とも地域の活性化に資するべく、その保存整備活用等を積極的に進めて行く必要がある。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		C	文化的景観にかかる講座等参加者数の向上に努めること。
三次評価 (理事者による評価)		C	文化的景観にかかる講座等参加者数の向上に努めること。

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			H26年度決算額			H27年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01061100	史跡等保存事業	16,749	1,130	1,130	5,441	A
合計			16,749	1,130	1,130	5,441	